

令和6年度全国学力・学習状況調査の  
結果をふまえた指導改善策

I 調査の概要

1 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 上記のような取組みを通して、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

小学校第6学年・義務教育学校第6学年の児童

3 調査の内容

- (1) 教科に関する調査（国語、算数、理科）
- (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
  - ・児童に対する調査
  - ・学校に対する調査

4 調査日時

令和6年4月18日（木）

II 学力調査の結果【小学校・義務教育学校前期課程】

1 教科に関する調査結果（平均正答率※）

	国語	算数
全 国	67.7	63.4
広島県	69	64
府中市	68	61
国府小	66	63

※平均正答率とは、「児童の正答数の平均」÷「設問数」の値を、%で表わしたものです。

## 2 調査問題の趣旨・内容

区分	調査問題の趣旨・内容
国語	<p>○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる。</p> <p>○資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。</p> <p>○目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。</p> <p>○登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基にとらえることができるかどうかをみる。</p>
算数	<p>○問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる。</p> <p>○計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる。</p> <p>○球の直径の長さや立方体の一片の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる。</p> <p>○速さの意味について理解しているかどうかをみる。</p>

## 3 調査結果にみられる特徴と課題及び今後の改善策

【国語】特徴と課題
<p>◆2 二・・・本校 40.8% 広島県 59.9% 全国 56.6%</p> <p>〔第5学年及び第6学年〕B書くこと ウ</p> <p>目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題</p> <p>→読み取った事実を書くことはできるが、それに対する自分の考えを書くことに課題がある。</p>

◇…相当数の生徒ができています点 ◆…課題のある点

【国語】改善策
<p>・語彙力を高める。</p> <p>低学年では、しりとりに言葉集め（「あ」のつく言葉、気持ちを表す言葉など）を行い、多くの言葉に触れさせる。中学年以上では、文章を読む際に、「気持ち」「色」「情景描写」などの言葉に印をつけることで様々な表現方法に気づけるようにする。</p> <p>・条件を与えて文章を書く。</p> <p>文章を読む際には、目的を意識した上で中心となる語や文を見付け、線を引くように指導する。また、文章を書く際には、条件を2つ以上提示することで、それに合わせて書くことができるかどうかをふり返る（評価する）ことができるようにする。</p> <p>（条件の例）</p> <p>①字数を指定する・・・・・・・・・・（例）50文字以上80文字以内にまとめて書きなさい。</p> <p>②使用する言葉や文を指定する・・・・（例）本文の中の言葉や文を取り上げて書きなさい。</p> <p>③書く内容を指定する・・・・・・・・・・（例）○○が分かるように書きなさい。</p> <p>・主張や主題、相手の考えに対して感想をもつ活動を行う。</p>

### 【算数】特徴と課題

◆ 3 (3) . . . 本校 26.0% 広島県 37.6% 全国 36.5%

〔第5学年〕B 図形

球の直径の長さ と 立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる問題

→球が出てくる問題のため、多くの児童が3.14を用いて立式したと考えられる。

→思考・判断・表現の問題では、特に日常生活と対応した問題の解決が課題であった。具体的な場面と関連した指導が必要である。

### 【算数】改善策

- ・問題場면을イメージできるように、算数的な活動を意識した授業を行う。
- ・授業内で誤答を取り扱い、解説を行う。
- ・問題の聞かれていることや、必要な数字に線を引くことで、問題を最後まで読むことができるようにする。

## Ⅲ 学習状況調査の結果

### 1 学習状況調査（児童質問紙）の結果にみられる傾向

#### 肯定的な回答の割合が、全国平均値よりも高かった項目

(24) 新聞を読んでいますか。

. . . . 肯定的な回答した児童 本校 19.6% 広島県 11.6% 全国 11.6%

(42) 国語の勉強は好きですか。

. . . . 肯定的な回答した児童 本校 80.4% 広島県 62.4% 全国 62.0%

(50) 算数の勉強は好きですか。

. . . . 肯定的な回答した児童 本校 72.5% 広島県 61.2% 全国 61.0%

#### 肯定的な回答の割合が、全国平均値よりも低かった項目

(34) 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

. . . . 肯定的な回答した児童 本校 72.5% 広島県 82.5% 全国 80.8%

(39) あなたの学級では、学究生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。

. . . . 肯定的な回答した児童 本校 74.5% 広島県 83.7% 全国 84.2%

(57) 算数の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしていますか。

. . . . 肯定的な回答した児童 本校 76.4% 広島県 85.5% 全国 84.6%

(62) 英語の勉強は大切だと思いますか。

. . . . 肯定的な回答した児童 本校 84.3% 広島県 92.1% 全国 92.1%

## 2 生活習慣・学習環境などに関する改善のポイント

- ・学んだことを掲示物等で示し、次の学習につながっている実感をもたせる。
- ・ふり返しを書く際に、できたこと・できなかったことを基にふり返らせる。
- ・学級会の時間だけではなく、普段の学習から、友達の話しを聞く雰囲気や学級風土を作る。相手の話を聞いたときには、相槌や反応をするよう声かけをする。
- ・外国語の学習だけではなく、社会の学習や日常生活でも日本と外国との関わりについて学習する機会を増やし、英語の重要性を実感することができるようにする。